

授業科目 リハビリテーション医学

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	理学・作業・言語・義肢
真 柄 彰、佐久間 真由美		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【概要・一般目標：G10】 リハビリテーション医学の対象となる代表的な疾患・外傷を通じて、リハビリテーション医学の特質である障害学、基本的な診断学、治療学について学習する。障害に対応するための家庭・社会的環境の評価法とその改善のアプローチを学習する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 代表的な疾患や外傷について生理学・運動学・高次脳機能学・障害者の心理などの障害に関する機序を理解する。 2. 具体的な治療内容について説明できるようになる。 3. 障害に対応するための機能障害・能力低下・家庭・社会的環境の評価法とその改善のアプローチを説明できるようになる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	脳卒中のリハビリテーション（１）			1, 2	講義
2	脳卒中のリハビリテーション（２）			2, 3	講義
3	疾患と障害の関係-ICIDHとICF			3	講義
4	脊髄損傷のリハビリテーション（１）			2, 3	講義
5	脊髄損傷のリハビリテーション（２）			1, 3	講義
6	機能障害・能力低下の評価の重要性			3	講義
7	パーキンソン病のリハビリテーション			1, 2	講義
8	機能障害にはどんな評価方法があるのか			3	講義
9	神経筋疾患のリハビリテーション			1, 2	講義
10	装具と義肢			2	講義
11	脳性麻痺のリハビリテーション			1, 2	講義
12	末梢循環障害・糖尿病のリハビリテーション			1, 2	講義
13	心筋梗塞のリハビリテーション			1, 2	講義
14	呼吸器疾患のリハビリテーション			1, 2	講義
15	まとめ			1-3	講義
【使用図書】		＜書名＞ ＜著者名＞ ＜発行所＞ ＜発行年・価格 他＞			
教科書 (必ず購入する書籍)		リハビリテーション総論 椿原彰夫 診断と治療社 2008年 3,600円			
参考書		標準理学療法学・作業療法学 基礎専門分野整形外科学 第2版 立野勝彦 医学書院 3,000円			
その他の資料		プリント配布 edulian上に参考ファイルを提示する			
【評価方法】		【履修上の留意点】			
出席 15%程度 定期試験 85%程度		予習復習にこころがけること			